

沼津港・ 松崎港

静岡県交通基盤部港湾局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

☎054-221-3056

1. 概況

沼津港

〈沿革〉

沼津港は、駿河湾最奥部の狩野川河口右岸付近に位置し、豊富な海産物や砂、化学薬品等を取り扱う静岡県東部の物流拠点、伊豆地域への玄関口としての交流拠点、大規模災害時に緊急物資の受入れなどを行う防災拠点港湾といった多くの役割を担っている。

昭和6(1931)年、新港計画が立ち上がり、昭和8年から幅110m、長さ290m、水面積3.2万㎡の泊地の建設が実施され、昭和12(1937)年に掘込港湾として内港が開港した。

昭和23(1948)年に港域法の制定により沼津港港域が指定され、更に、昭和25(1950)年には港湾法が制定されたことに伴い、昭和27(1952)年11月10日、地方港湾の指定を受けた。その後、昭和30年代から始まった大量輸送時代に対応すべく、昭和33(1958)年より外港建設に着手し、港湾修築事業として外郭施設整備が実施され、昭和35(1960)年東防波堤が完成、昭和39(1964)年には西防波堤が完成し、岸壁も整備された後、昭和45(1970)年に開港した。

その後、施設規模的には開港時と変わらない施設で利用されてきたが、西伊豆地域における海上交通ネットワークの充実や防災拠点の形成に向けた整備等をさらに促進するため、平成12(2000)年に観光を振興する港湾として「特定地域振興重要港湾」に松崎港とともに選定された。この選定を受け、平成14(2002)年に「沼津港港湾振興ビジョン」が策定され、観光交流拠点、防災拠点としての港湾機能の充実とともに、多くの人々が集うにぎわい拠点を形成することが位置付けられた。このビジョンに基づき、平成16(2004)年に津波防災施設として整備された大型航路水門「びゅうお」は、展望台機能も備える日本最大級の水門である。平成27(2015)年12月には、地域の関係者が一丸となって「沼津港みなとまちづくり推進計画」を策定し、沼津港をより高質な空間へと導くための、目指すべき10年後、20年後の「将来像」を定めている。この計画に基づき、ビジター用の浮桟橋を整備し、令和6年4月に内港西側緑地が供用を開始している。

〈現況〉

令和6(2024)年の取扱貨物量は約22万トンとなっており、主な貨物として砂利・砂、金属くず、非鉄金属等を取り扱っている。



沼津港



松崎港

また、取扱貨物のうち水産品の取扱量は約5,500トンとなり、近海鮮魚を中心に、生産市場兼消費地市場を形成し、高級魚・沼津ブランドが定着している。

近年では、平成16(2004)年の大型航路水門「びゅうお」、平成19(2007)年の「水産複合施設INO」、平成21(2009)年のマーケットモール「沼津みなと新鮮館」の開業等と合わせて、水産品を中心とした飲食店が立ち並び商店街の開発も進んでいる。また、平成19(2009)年に「みなとオアシス」に登録され、西伊豆観光の海の玄関としての機能を担うだけでなく、沼津市の中心市街地や周辺観光スポットと連携を図った「みなとのにぎわいづくり」が推進されており、令和5年には全国のみなとオアシスから自慢のグルメを集めてNo.1を競う「第14回Sea級グルメ全国大会」が開催され、年間で約164万人の観光客を集めた。

〈これからの沼津港〉

「沼津港みなとまちづくり推進計画」に基づき、北側緑地の整備等を進めることにより賑わいの創出を図り、地域総ぐるみで「みなとまちづくり」を推進していく。

松崎港

〈沿革〉

松崎港は、駿河湾に注ぐ那賀川、岩科川の合流する、河口に発達した河口港で、現在は、河口左岸から出る西防波堤と河口右岸海岸部に埋め立てられた、埠頭区域に囲まれた港である。

本港は陸上交通が未整備であった頃は、木炭などの搬出に重要な役割を果たしてきた。

当時唯一の物揚場は、那賀川の河口部護岸を利用したもので、波浪に弱いことから、防波堤82mを昭和34(1959)年から昭和42(1967)年の間に整備し、船舶の入出港と荷役の安全を図った。なお、防波堤の更なる延伸について、昭和45(1970)年から港湾整備5ヵ年計画に取り入れられ、昭和46(1971)年から昭和53(1978)年までに防波堤の整備が実施され、昭和52(1977)年から平成13(2001)年までに西防波堤とその改良整備が実施された。

また、石材等の積み出し港としての物流機能強化及び伊豆西海岸における防災機能強化のため、市街地北側の江奈地区において、平成3(1991)年より新港建設に着手し、平成17(2005)年に岸壁(-6.0m)、平成22(2010)年に岸壁(-5.5m)が完成した。

また、西伊豆地域における海上交通ネットワークの充実や防災拠点の形成に向けた整備等をさらに促進するため、平成12(2000)年に観光を振興する港湾として「特定地域振興重

要港湾」に沼津港とともに選定された。この選定を受け、平成14(2002)年には「松崎港港湾振興ビジョン」が策定された。同ビジョンでは沼津港をはじめとする駿河湾内の各港との連携の下、「松崎港」を西伊豆観光の海からの玄関口と位置づけ、観光面から地域振興に寄与することのほか、西伊豆地域の防災拠点としての整備や港と海辺などを結ぶ新たな観光ネットワークの形成を図ることが位置付けられた。

〈現況〉

新港と旧港の間に位置する松崎港海岸は、伊豆半島有数の海水浴場として、毎年多くの観光客が訪れ、まちの活性化に寄与している。また、令和7年8月には松崎港では内航・外航とおして初となる「飛鳥Ⅱ」の寄港が予定されている。

〈これからの松崎港〉

松崎港を中心とした地域経済の活性化へ向けて、クルーズ船のさらなる誘致活動など、観光・商業目的の利用促進を図っていく。

2. 港勢

(沼津港)

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	8	18,214						
内航商船	1,175	128,407						
自航								
その他	406	23,402						
合計	1,589	170,023						

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船			8	18,214				
内航商船					56	41,518	1,119	86,889
自航								
その他							406	23,402
合計			8	18,214	56	41,518	1,525	110,291

最大入港船舶のトン数 2,664総トン(喫水 5.91m)

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	14,371	100.0							1,918	13.3
輸入										
計	14,371	100.0							1,918	
移出	40,623	100.0							350	0.9
移入	196,540	100.0	6,457	3.3			109,690	55.8	32,790	16.7
計	237,163	100.0	6,457	2.7			109,690	46.3	33,140	14.0
合計	251,534		6,457	2.6			109,690	43.6	35,058	13.9

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出							12,453	86.7		
輸入										
計							12,453	100.0		
移出	1,225	3.0					39,048	96.1		
移入	43,138	21.9					4,465	2.3		
計	44,363	18.7					43,513	18.3		
合計	44,363	17.6					55,966	22.2		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	21,306	10,691	10,615
計	21,306	10,691	10,615

入港船舶

種別	合計		500GT 総トン以上		5GT 総トン以上 500GT 総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船						
内航商船	59	51,653	23	34,500	36	17,153
自航 その他	35	12,320				
合計	94	63,973				

最大入港船舶のトン数 総トン（喫水 m）

海上出入貨物

項目	合計	
	トン	%
輸出		
輸入		
計		
移出		
移入	49,774	100.0
計	49,774	100.0
合計	49,774	100.0

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
内国航路	633	316	317
計	633	316	317

3. 港湾施設

区 分 埠 頭 名	けい 船 施 設					荷 さ ば き 施 設					主 取 扱 貨 物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大けい船能力 (DWT)	船席数	荷 役 機 械			上 屋		
						機 械 名	揚 力 (t)	基 数	棟 数	使用面積 (㎡)	
(沼津港)〈公共〉											
	外港北1号	-7.5	130	5,000	1				1	2,433	砂利・砂、金属くず、石灰石
	外港北2号	-5.5	105	2,000	1						
	外港東1号 (耐震)	-7.5	134.6	5,000	1				1	1,537	金属くず、非鉄金属、砂利・砂
	外港東2号	-7.5	130	5,000	1						金属くず
	外港西耐震	-5.5	120	2,000	1						
	外港南1号	-5.5	84	2,000	1				1	4,454	水産品
	外港南2号	-6	60	500	1						
	2号ドルフィン	-5.5	44.1	2,000	1						染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 化学薬品、陶磁器
(松崎港)〈公共〉											
	岸壁(-6.0m)	6.0	100								砂利・砂、石材等
	取合護岸	6.0	31								
	-5.5m岸壁	5.5	100	2,000	1						砂利・砂、石材等

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
(沼津港)		
野積場	-	5,084㎡
普通倉庫		-
1~3類倉庫	2	2,108㎡
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	2	8,601㎡
水面倉庫(貯木場)	-	-
(松崎港)		
野積場	-	4,879㎡
普通倉庫		-
1~3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	1	461㎡
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊 地		
区 分	水深(m)	面 積 (㎡)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積 (㎡)
-	-

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長 (m)
臨港道路 (沼津港)	2,092
(松崎港)	452
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧 橋 (隻分)					固定 棧橋 (隻分)
(沼津港)												
沼津みなとマリーナ 〒410-0867 沼津市 本字千本1905-34 ☎055-951-7115	2785.41	-	-	50	50	-	-	-	50t、200t クローラー クレーン	-	平成18年	

6. 緑地

区分 名称	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
(沼津港)						
内港西側緑地	3,478.5	-	休息緑地	令和6年度	園路	ベンチ
(松崎港)						
松崎港緑地	1,449	-	休息緑地	昭和61年度	-	トイレ1基、照明灯3基
新港緑地	4,470	-	シンボル緑地	平成22年度	-	-

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役			は し か だ
				港湾荷役 (一貫)	船内	沿岸	
(沼津港)							
沼津埠頭株式会社	〒410-0867 沼津市本字千本1905-3	055-951-5411	○				

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
(沼津港)		
沼津土木事務所	〒410-0055 沼津市高島本町1-3	055-920-2209
清水海上保安部	〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1	054-353-1118
(松崎港)		
下田土木事務所	〒415-0016 下田市中531-1	0558-24-2108
下田海上保安部	〒415-0023 下田市3丁目18-23	0558-23-0118

